

グラーツとシュタイアーマルク州 文化と自然の共生



グラーツとシュタイアーマルク州 - 緑が溢れるヨーロッパの中心地と名馬リピツァーナー種の故郷

一日目 グラーツご到着

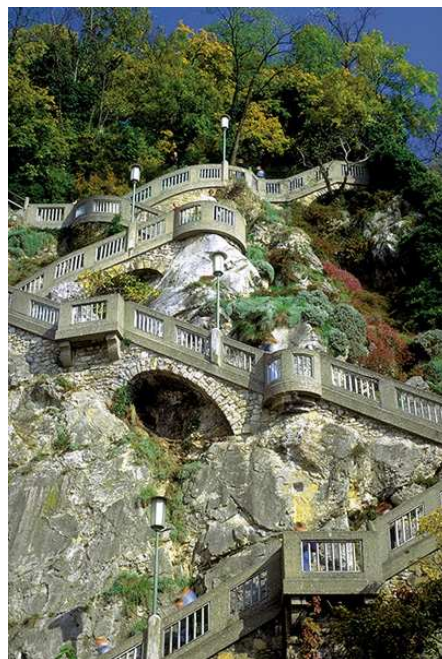
グラーツに到着。現地ツアーガイドと合流。グラーツの町並みは遙か遠い時代へのタイムトリップへ誘います。ここはルネッサンス、ゴシック、バロック時代のそれぞれが併存しているのです。ロマンチックな小道、ゴシック様式教会やバロック様式の中庭などとお知り合いになっていただきます。ツアーガイドは、現州知事官邸である王宮、ヘレン通り、州庁舎中庭、近代建築「Kunsthau」のあるムーア川に浮かぶ人工島などの建築物を巡りながら街をご案内します。シュロスベルクに登ると町のシンボルの塔「時計台」が現れます。この塔からは美しい眺めを楽しむことができます。その後は自然公園など、各自ご自由にこの活気溢れる環境でお過ごし下さい。

二日目 アップル街道への小旅行

東シュタイアーマルク州のりんご地帯へ小旅行に出かけます。ここはその名の通り、肥沃な地と柔らかい気候、降り注ぐ日差しが沢山の果物を実らせています。昔からの習慣が種々ここには存続しており、それらに深く感銘を受けることでしょう。そして見渡す限りに広がろうねるようなりんご畑の景色をお楽しみ下さい。4月の半ば頃には全ての花が咲き誇り、色とりどり百花繚乱の景色が見られ、9月の終わりには完熟した果実が収穫されます。ロマンチックの中に秘めた神秘や広がる荒野の景色を楽しめるヘルパーシュタイン城とその中庭（入場料は別途）の訪問やくつろぎの時間を取った後、自家製のりんご酒を試飲できる小さな農園を訪ねます。お城を取り囲む自然公園の中で素晴らしい環境の下、くつろいだ午後のひとときをお過ごし下さい。

三日目 ピーバーへの小旅行

スペイン乗馬学校で見られる名馬リピツァーナー種の故郷、ピーバーにあるシュタイアーの宝石へとお連れします。名馬は国営養馬場で生まれ育てられます。リピツァーは生まれたときは黒毛であることをご存知でしたか？午後にはそこからほんの数メートル先にあるベルンバッハへ向かいます。そこにある聖バーバラ教会はオーストリアの画家フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサーによって設計された数あるもののひとつです。その後ガラス工房を訪問後、この小旅行は終わりとなります。



四日目 ご出発

シュタイアーマルク州とのお別れを惜しみつつご出発

下記全てが含まれます

- 三ツ星、四ツ星クラスホテル滞在
- ホテルでのポーターサービス
- 朝食（ブッフスタイル）
- 英語を話すツアーアシスタント
- グラーツにて英語を話すガイド付き半日観光（ケーブルカー込み）
- 英語を話すガイド付きアップル街道への小旅行（りんご農園訪問込み）
- ピーバーへの小旅行
- エアコン付き新型バス



料金：

お問い合わせください